

## 年表

本学	社会一般
<b>1989年</b> <span> [</span> 昭和64 <span>・</span> 平成元年 <span>]</span> <p>7月 文京女子大学の設置認可申請書提出(31日)</p> <p>12月 四年制大学開学準備室を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大野信三経済学博士・短大顧問から書籍1万2,388冊が図書館に寄贈される(「大野文庫」)</li> </ul>	<p>1月 昭和天皇崩御、「平成」と改元</p> <p>9月 文部省、「大学設置基準」改正</p> <p>11月 ベルリンの壁崩壊</p>
<b>1990年</b> <span> [</span> 平成2年 <span>]</span> <p>8月 島田和幸理事長逝去(30日)</p> <p>12月 文部省より「文京女子大学経営学部経営学科」(平成3年4月開設・入学定員250人・収容定員1,000人)の設置認可を受ける(21日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>B.S.I.Sの研修先がセント・ベネディクト大学/セント・ジョーンズ大学に変更となる</li> </ul>	<p>1月 大学入試センター第1回試験実施</p> <p>10月 東西ドイツ統一</p> <p>11月 天皇即位の礼</p>
<b>1991年</b> <span> [</span> 平成3年 <span>]</span> <p>1月 文京女子大学経営学部で推薦入試実施(25日)</p> <p>2月 文京女子大学経営学部で第一次一般入試実施(23日)</p> <p>3月 文京女子大学経営学部で第二次一般入試実施(9日)</p> <p>3月 ふじみ野キャンパス東館竣工、本郷キャンパス新教室棟(D館)、学生ラウンジ棟竣工</p> <p>4月 「文京女子大学経営学部経営学科」開学。学長に島田燁子が就任</p> <p>4月 文京女子大学経営学部で第1回入学式を挙(4日)</p> <p>4月 「在外研究員」制度が施行</p> <p>6月 開学記念講演会「21世紀の潮流を探る」を開催(11日)</p> <p>6月 文京女子大学開学記念式を開催(22日)</p> <p>11月 毎年恒例行事となる「30kmウォーク」第1回目を開催(2日)</p> <p>12月 文部省より「文京女子大学経営学部」の期間を付した定員増が認可される(20日)</p>	<p>1月 湾岸戦争勃発</p> <p>2月 バブル景気(1986年12月~1991年2月)終結</p> <p>4月 東京都の庁舎が新宿に移転</p> <p>6月 文部省、「大学設置基準」などの改正公布(基準の大綱化)</p> <p>6月 東北・上越新幹線、全線開業</p> <p>11月 営団地下鉄南北線駒込 - 赤羽岩淵駅間開通</p> <p>12月 ソビエト連邦崩壊</p>
<b>1992年</b> <span> [</span> 平成4年 <span>]</span> <p>4月 第1回公開講座「イブニング・フォーラム」を本郷キャンパスで開催(4日)</p> <p>5月 第1回公開講座「ウィークエンドフォーラム」をふじみ野キャンパスで開催</p> <p>7月 経営学部で短期留学(米国)開始</p>	<p>4月 育児休業法施行</p> <p>9月 公立学校で週5日制を一部実施</p>
<b>1993年</b> <span> [</span> 平成5年 <span>]</span> <p>8月 細川内閣の文部大臣に赤松良子教授が就任</p>	<p>11月 欧州連合(EU)発足</p> <p>11月 東武東上線「ふじみ野駅」が開業</p>
<b>1994年</b> <span> [</span> 平成6年 <span>]</span> <p>2月 日本工業倶楽部会館を会場として「経営学部・就職懇親パーティー」を開催(9日)</p> <p>3月 文京学園軽井沢セミナーハウス竣工式、お披露目の開催(19日)</p> <p>8月 第1回「東海道五十三次ウォーク」で京都を出発(1日~24日(日本橋にゴールイン))</p>	<p>9月 関西国際空港開港</p> <p>10月 ノーベル文学賞に大江健三郎</p>
<b>1995年</b> <span> [</span> 平成7年 <span>]</span> <p>4月 ふじみ野キャンパスに「経営学部 情報教育研究センター」を設置</p>	<p>1月 阪神・淡路大震災発生</p> <p>3月 地下鉄サリン事件</p>
<b>1996年</b> <span> [</span> 平成8年 <span>]</span> <p>4月 専任教員の研究活動を促進する「特別研究者制度」を施行開始</p>	<p>6月 病原性大腸菌O-157食中毒流行</p>

本学	社会一般
<p>4月 本郷キャンパスに島田依史子記念館の講堂(仁愛ホール・生涯学習センター等)と図書館棟落成</p> <p>4月 経営学部で「派遣留学」開始</p> <p>4月 文京女子大学・文京女子短期大学 生涯学習センターが開設 社会人講座開始</p> <p>5月 仁愛ホールにて生涯学習センター開設記念講演会「シェイクスピアの人間学」と「日本の企業・金融機関の将来と女性」を開催(8日)</p> <p>5月 仁愛ホールで坂東玉三郎丈の舞踏公演開催(16日)</p> <p>12月 文部省より、文京女子大学に「人間学部人間学科」(平成9年4月開設・入学定員250人・収容定員1,000人)の増設認可を受ける。文部省より、文京女子大学に「大学院経営学研究科」(平成9年4月開設・入学定員10人・収容定員20人)の増設認可を受ける(19日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>携帯電話急増</li> </ul>
<b>1997年</b> <span> [</span> 平成9年 <span>]</span> <p>2月 ふじみ野キャンパス西1号館が竣工(28日)</p> <p>3月 ふじみ野キャンパス東館大学院棟が竣工</p> <p>4月 建学の精神を「自立と共生」と定める</p> <p>4月 「文京女子大学人間学部人間学科」および「大学院経営学研究科(修士課程)」を開設。文京女子大学人間学部人間学科は「保育心理専攻」、「福祉心理専攻」とし1学科、2専攻で開始</p> <p>4月 「総合研究所」を設置</p> <p>6月 生涯学習センター開設1周年を記念し、声楽家の持田篤人間学部教授による独唱会「日本の歌・ドイツの歌」と、作家の落合恵子氏による講演会「いのちの感受性 -いま、自立と共生と-」を開催(7日)</p> <p>10月 ふじみ野キャンパスに「心理臨床・福祉センター」を開設(1日)</p> <p>10月 「科研費取扱管理規程」を策定</p> <p>10月 経営学部に「将来構想実施検討委員会」を設置</p>	<p>4月 消費税率5%に引き上げ</p> <p>7月 香港返還</p> <p>7月 アジア通貨危機</p> <p>11月 北海道拓殖銀行、山一証券が破綻</p> <p>12月 地球温暖化防止京都会議で「京都議定書」採択</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内総生産(GDP)が23年ぶりのマイナス成長</li> </ul>
<b>1998年</b> <span> [</span> 平成10年 <span>]</span> <p>4月 経営学部で「企業実習」の科目を設置</p> <p>8月 第2回「東海道五十三次ウォーク」実施(19日~9月10日)</p> <p>12月 文部省より、文京女子大学に「大学院人間学研究科」(平成11年4月開設・入学定員10人・収容定員20人)の増設認可を受ける(22日)</p>	<p>2月 冬季オリンピック長野大会開催</p> <p>4月 老年人口が初めて年少人口(15歳未満)を上回る</p> <p>12月 特定非営利活動促進法(NPO法)施行</p>
<b>1999年</b> <span> [</span> 平成11年 <span>]</span> <p>3月 学生寮「ドームふじみ野」竣工</p> <p>4月 「大学院人間学研究科(修士課程)」を開設</p> <p>4月 経営学部を1学科2専攻とし、「マネジメント専攻」と「経営情報デザイン専攻」を設置。「ベンチャービジネス」が経営学部で正課科目となる</p> <p>8月 ふじみ野キャンパス東館北棟が竣工</p> <p>11月 第1回「総合研究所共同研究発表会」を開催(19日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>共学問題検討委員会を設置</li> </ul>	<p>1月 欧州に単一通貨「ユーロ」誕生</p> <p>5月 行政機関情報公開法公布</p> <p>6月 男女共同参画社会基本法成立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の推計人口が60億を突破</li> </ul>
<b>2000年</b> <span> [</span> 平成12年 <span>]</span> <p>3月 東洋大学経営学部との単位互換協定を締結(21日)</p> <p>4月 経営学部で初年次教育を開始</p> <p>4月 総合研究所に「学術振興委員会」を設置</p> <p>4月 大学院経営学研究科にコース制を導入。「マネジメントコース」(昼間)「ビジネスコース」(夜間)を開設</p>	<p>4月 介護保険制度発足</p> <p>9月 三宅島噴火(7月)で全島避難発令</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ITバブル」崩壊</li> </ul>

■ 本学

- 4月 経営学部でチューター制度を導入
- 5月 本郷キャンパスに「臨床心理相談センター」開設
- 5月 開学10周年記念 特別シンポジウム「『日本人はどう生きるか』～21世紀の日本とアメリカ～」を開催(13日)
- 5月 開学10周年記念特別講演会「女性の地位と日本国憲法」を開催(18日)
- 6月 放送大学との単位互換協定を締結(15日)
- 12月 文部省より、「文京女子大学外国語学部英語コミュニケーション学科」(平成13年4月開設・入学定員140人・編入学定員28人・収容定員616人)の増設認可を受ける(21日)
  - － ふじみ野図書館が国立情報学研究所の目録所在サービス(NACISIS-CAT/ILL)に参加

■ 2001年[平成13年]

- 3月 『文京女子大学総合研究所紀要』を創刊
- 4月 「文京女子大学外国語学部英語コミュニケーション学科」を開設
- 4月 経営学部経営学科の「マネジメント専攻」を「経営コミュニケーション専攻」に名称変更
- 4月 人間学部に「心理学専攻」を開設
- 4月 大学院人間学研究所に「心理学専攻」を開設し、「心理学コース」と「臨床心理学コース」の2コース制を導入
- 4月 本郷キャンパスに「チャット・ラウンジ」を設置
- 5月 外国語学部でセント・ベネディクト大学/セント・ジョーンズ大学のベネツ教授による集中講義開始(～6月)
- 5月 CI委員会を設置
- 7月 経営学部で定員割れに対する解決策が検討されるなかで「カリキュラム検討委員会」を設置
- 8月 第3回「東海道五十三次ウォーク」実施(3日～28日)
- 10月 緊急特別シンポジウム「グローバリゼーションの明と暗－国際危機と日本の課題－」を開催(17日)
  - － 共学化実施を見送り

■ 2002年[平成14年]

- 3月 厚生労働省の再雇用支援制度に基づく職業訓練講座を社会人向けに開講
- 4月 文京女子大学の名称を「文京学院大学」と変更
- 4月 大学院経営学研究科に「医療マネジメントコース」を設置
- 4月 大学院人間学研究所人間学専攻に「保育学コース」と「社会福祉学コース」の2コース制を導入
- 4月 淑徳大学国際コミュニケーション学部と単位互換協定を締結
- 4月 彩の国大学コンソーシアムの友好交流協定に基づき、単位互換協定に参加する8大学と協定締結
- 4月 北星学園大学と単位互換協定を締結
- 4月 生涯学習センターで、「文京生涯カレッジ」を開始
- 7月 文部科学省より、文京学院大学に「人間学部共生社会学科」(平成15年4月開設・入学定員75人・収容定員300人)の増設認可、および「保育心理専攻」を「保育学科」、「福祉心理専攻」を「人間福祉学科」、「心理学専攻」を「心理学科」へ改組転換することの認可を受ける(30日)
- 11月 名桜大学(沖縄県・名護市)と単位互換協定を締結
  - － 埼玉県上福岡市との学生インターンシップ活用事業に関する協定調印締結

■ 社会一般

- 1月 中央省庁再編、1府12省庁発足
- 7月 学校教育法一部改正(奉仕活動、大学・大学院への飛び入学)
- 9月 米国同時多発テロ発生
- 10月 米国を中心とする多国籍軍、アフガニスタンに侵攻開始
- 11月 WTO、中国の加盟を承認

- 1月 EUの共通通貨「ユーロ」流通開始
- 4月 小・中学校新学習指導要項に移行、完全週5日制導入
- 5月 FIFAワールドカップ日韓共同開催
- 7月 工場等制限法廃止
- 8月 住民基本台帳ネットワーク(住基ネット)稼働
- 11月 学校教育法一部改正(専門職大学院、第三者機関による大学評価導入)

■ 本学

- － 経営学部において、海外の大学との協定に基づく編入学制度の導入により、北京科技大学(中国)と協定締結
- － 淑徳大学との共催公開講座を開始

■ 2003年[平成15年]

- 2月 学生自治会(本郷キャンパス)と学生会(ふじみ野キャンパス)の主催により「ニューリーダー育成研修会」を開始
- 3月 本郷キャンパスの学生交流会館竣工
- 3月 共学化実施に関して第1回「共学問題調査委員会」を開催(25日)
- 4月 「子ども英語教育センター(CLEC)」がBLECから分離して開設
- 4月 人間学部に「共生社会学科」を開設し、「保育心理専攻」は「保育学科」、「福祉心理専攻」は「人間福祉学科」、「心理学専攻」は「心理学科」と学科へ昇格し、4学科体制となる
- 4月 経営学部、北京科技大学(中国)からの3年次への編入学が開始
- 8月 「国際連携教育プログラム」を開始
- 9月 理事会で正式に共学化が承認される(25日)
- 10月 経営学部が上福岡駅前商店街で学生による実験店舗「PC-S」の運営を実施(～12月)
- 11月 経営学部将来構想実施検討委員会で、学部名称・学科名称変更を検討(7日)
  - － 大学院臨床心理学コース研究科修了後の学生たちのために卒業教育としての「研修生制度」を設ける
  - － 本郷キャンパスで「キャリアリーダー委員会」が発足
  - － 埼玉県入間郡大井町との学生インターンシップ活用事業に関する協定調印締結
  - － マラ工科大学(マレーシア)と交換留学協定締結

■ 2004年[平成16年]

- 3月 小田島雄志教授から書籍約1,500冊が図書館に寄贈される(「小田島文庫」)
- 4月 経営学部がふじみ野キャンパスから本郷キャンパスへ移転(新1年生)
- 4月 「大学運営会議」を設立
- 4月 経営学部で1年次前期の必修科目2単位として「大学学」を開始
- 4月 就職課から「キャリアセンター」に名称変更
- 8月 本郷キャンパスB館竣工
- 8月 第4回「東海道五十三次ウォーク」実施 富士山登頂(8日～14日(歩行)、17日～19日(富士山))
- 9月 「地域活性化への貢献事業～共生社会想像を図る地域貢献活動と雇用創出」が「現代GP」に採択される
- 10月 北京語言大学(中国)とトンプソン・リバーズ大学(カナダ)と交換留学協定締結
- 10月 「大学院外国語学研究科」設置届出書を文部科学省が受理(5日)
- 10月 「保育実践研究センター ふらっと文京」開設
  - － 「国際連携教育プログラム」にマラ工科大学(マレーシア)が加わる

■ 2005年[平成17年]

- 2月 「大学院連携講座」「大学連携講座」が、生涯学習センターのアカデミックな講座方針を再確認する企画として開始
- 4月 文京学院大学全学部が男女共学化
- 4月 経営学部3年次生・4年次生が本郷キャンパスへ移転
- 4月 「コンテンツ多言語知財化センター」開設

■ 社会一般

- 3月 米英軍がイラク攻撃開始
- 4月 日本郵政公社発足
- 5月 個人情報保護法公布
- 6月 有事法制関連三法成立
- 12月 テレビ地上デジタル放送開始

- 1月 自衛隊のイラク派遣開始
- 4月 国立大学法人化
- 4月 私立学校法一部改正
- 10月 新潟県中越地震発生
- 12月 スマトラ島沖大地震発生

- 2月 「京都議定書」発効
- 2月 中部国際空港開港
- 3月 愛知万博開催
- 4月 個人情報保護法全面施行
- 6月 食育基本法公布

## ■ 本学

- 4月 人間学部人間福祉学科に「介護福祉コース」(入学定員30人・収容定員120人)開設
- 4月 「大学院外国語学研究所(修士課程)」(入学定員10人・収容定員20人)開設
- 4月 外国語学部にて海外インターンシップ開始
- 4月 経営学部で正課のフィールドワーク科目として「長期フィールドワーク実践」「長期ライセンス取得実践」が開始
- 5月 「地域連携センター BICS(Bunkyo Informal and Community Service)」開設。5事業を開始する
- 5月 セント・ジョンズ大学デイトリッヒ・ラインハルト学長と同大学男性合唱団が来学し、演奏会開催
- 6月 「保育実践研究センター ふらっと文京」で「子育て講座」「公開研究会」開始
- 9月 本郷図書館で文京区民への図書館開放が始まる
- 9月 生涯学習センターにて日野原重明先生特別講演(勲聖路加国際病院理事長)「輝いて生きるための生き方の選択」を開催(21日)
- 12月 文部科学省より、「文京学院大学保健医療技術学部」(平成18年4月開設・理学療法学科入学定員80人・作業療法学科入学定員40人・臨床検査学科入学定員80人・収容定員800人)の増設認可を受ける(5日)
  - ふじみ野図書館で受験勉強を目的とした高校生への利用開放開始(夏季・冬季長期休暇中)

## ■ 2006年[平成18年]

- 2月 ふじみ野キャンパス東館・学生会館「B's MODE」竣工、保健医療技術学部開設にあたって、実験実習室や人体標本室を設置。学生会館1階に図書館分室の「B's Media Lounge」を設置
- 3月 東京国際アニメフェア(現・AnimeJapan)に学生有志がブースを初出展(23日～26日)
- 4月 大学院経営学研究科に「税務マネジメントコース」を開設
- 4月 文京学院大学保健医療技術学部「理学療法学科」、「作業療法学科」、「臨床検査学科」を開設。「文京学院大学外国語学部英語コミュニケーション学科」の定員変更(入学定員180人・編入学定員28人・収容定員776人)を実施「文京学院大学経営学部経営学科」の定員変更(入学定員200人・収容定員800人)を実施
- 4月 経営学部のカリキュラム改訂により、フィールドワーク授業の充実が図られ、「フィールドリサーチ」「長期フィールドワーク実践」の2科目がカリキュラムに追加され、海外インターンシップを開始する
- 4月 ふじみ野キャンパス「心理臨床・福祉センター」に保健医療技術学部から作業療法学科教員が臨床相談職員として参加
- 5月 生涯学習センターで「理学療法士ブラッシュアップコース」を開講
- 5月 生涯学習センターで「21世紀を担うリーダー養成講座 記念講演会」を開催。「日本のこれから、日本人のこれから」講師：藤原正彦氏(お茶の水女子大学理学部教授)(23日)
- 8月 本郷東キャンパスに臨床検査学科共同研究棟が竣工
- 8月 第5回「東海道五十三次ウォーク」実施(22日～29日)
- 10月 あやめ祭(大学祭)で、保健医療技術学部生有志による「マッスルプロジェクト」がパフォーマンスを披露開始
- 11月 ふじみ野キャンパスに「環境教育研究センター」を開設
  - 生涯学習センターで、「文京区民大学」講座が、文京区教育委員

## ■ 社会一般

- 7月 学校教育法一部改正(大学等の教員組織変更など)

- 2月 世界の推計人口が65億を突破
- 4月 JR西日本福知山線脱線事故
- 4月 耐震強度偽装事件
- 12月 教育基本法全部改正

## ■ 本学

- 会との連携で始まる
- 授業支援システム(Learning Management System)であるMoodleを導入
- 保健医療技術学部で「進路指導ガイダンス」「進路情報交換会」を開催
- 「国際連携教育プログラム」にトンプソン・リバーズ大学(カナダ)が加わる
- ふじみ野図書館に「子ども図書コーナー(「寺村輝夫文庫」)」を設置

## ■ 2007年[平成19年]

- 4月 ふじみ野キャンパスに「ランゲージ・サロン」を設置
- 11月 経営学部と関東ニュービジネス協議会(東京 NBC)との包括提携協定締結(15日)
- 11月 生涯学習センターで「文京区制60周年記念事業 文化講演会」開催。「よく生き、よく笑い、よき死と出会う」講師:アルフォンス・デーケン氏(上智大学名誉教授)(2日)

## ■ 2008年[平成20年]

- 3月 「文京学院大学医学技術専門学校」閉校記念式典開催(22日)
- 4月 文京学院大学人間学部「保育学科」を「児童発達学科」に学科の名称を変更し、小学校教諭一種免許状の課程を設置
- 4月 経営学部に「初年次教育委員会」を設置
- 4月 経営学部1年次生に対し「ポートフォリオ」導入
- 4月 保健医療技術学部で「保護者会」が発足
- 4月 「特別研究者制度」を「国内研究者制度」に名称変更
- 4月 「出版助成制度」を施行開始
- 5月 生涯学習センターで「春の特別講座 文化講演会」を開催。「がんばらない あきらめない なげださないー命を支えるということー」講師:鎌田實氏(諏訪中央病院名誉院長)(23日)
- 8月 ふじみ野キャンパス中央館竣工。中央館に小体育館を設置
- 8月 第6回「東海道五十三次ウォーク」実施(24日～31日)
  - 就活プログラム「営業研究会」を新設
  - 経営学部で海外インターンシップ開始

## ■ 2009年[平成21年]

- 2月 本郷キャンパスに新たな学生寮「ドーム本郷」が竣工
- 3月 ソングリーディングダンスチーム LEOPARDS が「U.S.A SF2009 THE CHEER LEADING WORLDS」インターナショナル・オープン・ボム部門で準優勝
- 4月 文京学院大学外国語学部英語コミュニケーション学科の定員変更(入学定員200人・編入学定員28人・収容定員856人)を実施
- 4月 経営学部で、「電子ポートフォリオ」を導入
- 7月 経営学部が「就業力支援 GP」に採択され、初年次教育からキャリア教育までの教育展開開始
- 9月 保健医療技術学部で「PT・OT 学内合同就職説明会」開催開始
- 10月 文部科学省より、文京学院大学に「大学院保健医療科学研究科」(平成22年4月開設・入学定員20人・収容定員40人)の増設認可を受ける(30日)
- 10月 保健医療技術学部で「保護者個別面談」を、あやめ祭(大学祭)初日に開催

## ■ 社会一般

- 1月 防衛省発足
- 2月 第1回東京マラソン大会開催
- 6月 学校教育法(各学校種の目的・目標の見直しなど)を含む教育三法一部改正
- 7月 新潟県中越沖地震発生
- 7月 米国でサブプライムローンが問題化
- 10月 郵政民営化スタート

- 5月 中国・四川大地震発生
- 7月 北海道洞爺湖サミット開催
- 7月 日本で iPhone が発売開始
- 9月 米国発のリーマンショックで世界同時不況に
- 10月 ノーベル物理学賞に南部陽一郎・小林誠・益川敏英、化学賞に下村脩
- 12月 東京・日比谷公園に「年越し派遣村」開設

- 3月 日経平均株価、バブル後の安値を更新し7,054円98銭に
- 5月 裁判員制度開始
- 5月 大学への進学率が5割を超える
- 6月 新型インフルエンザ流行、WHOはパンデミックと判定
- 9月 総選挙で民主党が圧勝、新政権誕生

## ■ 本学

- 経営学部開講講座「起業と事業創造」が経済産業省から「起業家教育モデル講座」に選定
- 外務省と日・ASEAN 事務局の協力により、コンテンツ多言語知財化センター内に「ASIAGRAPH CG アートギャラリー事務局」を設置
- 「キャリア戦略会議」を設置
- 追分通り三面大黒天商栄会と群馬県前橋市富士見町との「都市農村交流事業」に参画
- 本郷図書館が国立情報学研究所の目録所在情報サービス(NACISIS-CAT/ILL)に参加

## ■ 2010年[平成22年]

- 3月 「新・文明の旅」プログラム調査準備委員会」を設置
- 4月 文京学院大学人間学部「共生社会学科」を「コミュニケーション社会学科」に学科の名称を変更し、併せて人間学部各学科の定員変更(コミュニケーション社会学科(入学定員60人・収容定員240人)、児童発達学科(入学定員130人・収容定員520人)、人間福祉学科(入学定員110人・収容定員440人)、心理学科(入学定員85人・収容定員340人))を実施。経営学部経営学科の定員変更(入学定員215人・収容定員860人)を実施
- 4月 「大学院保健医療科学研究科保健医療科学専攻(修士課程)」開設
- 4月 ふじみ野キャンパス「心理臨床・福祉センター」の名称を「心理臨床・福祉センター『ほっと』」に変更
- 4月 本郷キャンパスに「スポーツマネジメント研究所」を開設
- 5月 大学開学20周年記念・大学院保健医療科学研究科新設記念文化講演会開催「宇宙の輪廻」(小柴昌俊東京大学特別荣誉教授)を、本郷キャンパス仁愛ホールで文京区と財団法人文京アカデミー共催で開催(14日)
- 7月 「新・文明の旅」プログラム実行委員会」を発足
- 8月 カニヤ・キャンパス・ポカラ(ネパール)との交換留学協定締結
- 8月 第7回「東海道五十三次ウォーク」実施(22日～29日)
- 9月 アレクサンドル・イオン・クーザ大学副学長ヘンリー・ルキアン教授、アンカラ大学言語歴史地理学部日本語日本文学科学科長アイシュヌル・テキメン教授が来校
- 10月 リュボミル・トドロフ駐日ブルガリア特命全権大使を招聘し、「ブルガリアの歴史・文化と現代社会」のテーマで「新・文明の旅」プログラム発足記念講演会を本郷キャンパスで実施(16日)
- 11月 光云大学(韓国)と交換留学協定締結

## ■ 2011年[平成23年]

- 1月 「ふじみ野市立図書館と文京学院大学ふじみ野図書館の相互協力に関する協定書」を締結(1日)
- 3月 人間学部が飯能信用金庫(埼玉県飯能市)と産学連携協定を締結し、同年7月から「金融研究会」を開講
- 3月 アンカラ大学(トルコ)からアイシュヌル・テキメン教授が来校し、「新・文明の旅」受講生に特別講義実施(9日)
- 4月 第2代目学長に川邊信雄経営学部教授が就任
- 4月 外国語学部において、「国際ビジネスコミュニケーション専攻」と「国際教養コミュニケーション専攻」の2専攻制を導入
- 4月 外国語学部で留学生特待生プログラム(Bunkyo Global Ambassador Scholarship Program:BGASP)を開始

## ■ 社会一般

- 1月 社会保険庁廃止、日本年金機構発足
- 1月 ギリシャの財政危機が表面化
- 3月 高校無償化法成立
- 3月 「平成の大合併」終結、市町村数が半減
- 6月 小惑星探査機「はやぶさ」地球帰還
- 10月 ノーベル化学賞に鈴木章、根岸英一
- 12月 東北新幹線、新青森まで全線開業

- 1月 中国のGDPが日本を超え世界第2位へ
- 3月 シリア、内戦状態に
- 3月 東日本大震災発生
- 3月 東京電力福島第一原子力発電所で爆発事故
- 3月 九州新幹線全線開業
- 7月 サッカー女子W杯で「なでしこジャパン」優勝
- 7月 テレビ放送がアナログ放送からデジタル放送に完全移行

## ■ 本学

- 4月 人間学部3年次生を対象とするキャリア教育科目「キャリア実践講座」を正課科目として開講。併せて、2年次を対象とした正課外科目「キャリアサブゼミ」3年次生を対象とした正課外科目「キャリアアップ研究会」を開講。「OB・OG 就職相談会」を実施
- 4月 大学院経営学研究科に「コンテンツ・マネジメントコース」を開設
- 4月 第1回「新・文明の旅特講a」開講
- 6月 生涯学習センター10周年記念特別企画「松井久子監督 映画『レオニー』上映会と講演会」を開催(24日)
- 7月 本郷・ふじみ野両キャンパスで「てっぺんフォーラム」を開始
- 9月 川邊信雄学長および島田昌和副理事長、プログラムの担当教員2名の計4名が「新・文明の旅」プログラムの訪問予定3カ国(トルコ、ブルガリア、ルーマニア)4大学を表敬訪問し、各大学と協定(覚書)を締結
- 11月 アンカラ大学(トルコ)ジェマル・タルー学長による講演会「トルコ共和国ー日本との交流とアンカラ大学」を仁愛ホールで開催
- 12月 第1回「新・文明の旅」プログラム 派遣学生を対象とした全体説明会を開催(27日)
- 12月 「キャリアてっぺんフォーラム」を両キャンパスで開始
  - 国際連携教育プログラム提携校にカニヤ・キャンパス・ポカラ(ネパール)が加わる
  - コンテンツ多言語知財化センターの活動の一つとして東日本大震災支援活動団体「プレーメンズ」を立ち上げる
  - 人間学部人間福祉学科で国家試験合格率向上のための「社会福祉特講」を開講
  - タッチフットボール部 CLATTERS が関東大会優勝

## ■ 2012年[平成24年]

- 1月 「新・文明の旅」プログラムが、私立大学等経常費補助金特別補助「未来経営戦略推進経費 経営基盤強化に貢献する先進的な取組み」に採択される
- 2月 第1回「新・文明の旅」プログラム海外派遣実施。トルコをはじめ3カ国4大学を訪問して現地(29日～3月17日)の学生たちと交流(29日～3月17日)
- 3月 「『新・文明の旅』東日本大震災被災地派遣チーム」を結成し、被災地でボランティア活動(1日～4日)
- 4月 ヴェリコ・タルノヴォ大学(ブルガリア)と交換留学協定締結(19日) 春 本郷キャンパスで1日1社の「学内企業説明会・選考会」を開始(春と秋に開催)
- 8月 第8回「東海道五十三次ウォーク」を「五街道ウォーク」と改称し実施(19日～26日)
- 8月 本郷キャンパス東キャンパスに東本館竣工
- 10月 大学祭で各国大使館およびプログラム関係者を招き、第1回「新・文明の旅」プログラム派遣メンバーによる報告会を開催(20日)
- 12月 第2回「新・文明の旅」プログラム実行委員会活動開始
  - 国際連携教育プログラム提携校にヴェリコ・タルノヴォ大学(ブルガリア)とアンカラ大学(トルコ)が加わる
  - ふじみ野・本郷両キャンパスで統合認証システムを導入
  - 学生が自身の意見を大学に直接提言できる場としてSLF委員会を設定

## ■ 2013年[平成25年]

- 3月 第2回「新・文明の旅」プログラム実行委員会により訪問対象国がポーランド、リトアニア、ラトビアの3カ国に決定

## ■ 社会一般

- 10月 タイで大規模な洪水が発生
- 10月 世界の推計人口が70億を突破

- 4月 ミャンマーの議会補欠選挙でアウン・サン・スー・チー率いる国民民主連盟が圧勝
- 5月 国内の全原子力発電所が停止
- 5月 東京スカイツリー開業
- 10月 ノーベル生理学・医学賞に山中伸弥
- 12月 第46回衆議院総選挙で自民党が単独過半数の圧勝、政権交代へ
  - 「ギリシャ危機」で欧州のソブリン問題深刻化

- 5月 「マイナンバー法」が成立、2016年から利用開始

## ■ 本学

- 4月 次の学部学科において定員変更を実施。経営学部経営学科(入学定員235人・収容定員940人)、人間学部心理学科(入学定員100人・収容定員400人)、外国語学部英語コミュニケーション学科(入学定員240人・収容定員960人)
- 4月 グローバル人材育成のための新たな教育プログラム「Bunkyo GCI」を開始
- 4月 GCI「語学・異文化理解留学」を開始
- 4月 本郷キャンパス「チャット・ラウンジ」で中国語を開始
- 4月 本郷図書館、ふじみの図書館にラーニングコモンズを設置
- 4月 入学式において、ペーテリウス・ヴァイヴァルス駐日ラトビア特命全権大使と、アルベルタス・アルギルダス・ダムブラウスカス駐日リトアニア全権公使がスピーチを行う(2日)
- 5月 国立高雄餐旅大学(台湾)と交換留学協定締結
- 7月 日本医科大学(文京区)と教育や研究などにおける「大学間連携協力協定」を締結(5日)
- 8月 文部科学省より保健医療技術学部「看護学科」設置の認可を受ける(入学定員100人・収容定員400人)
- 8月 アンカラ大学(トルコ)との交換留学協定締結
- 9月 看護学科、保健師学校等指定を受ける
- 10月 大学祭で、ピョートル・ショスタック駐日ポーランド副大使による特別講演「ポーランドの政治・経済・史・文化から探る日・ポーランド関係の将来」を開催(13日)
- 11月 第2回「新・文明の旅」プログラム特別講義として、映画「杉原千畝の決断」を両キャンパスで上映
  - ふじみ野キャンパスで、学内合同企業説明会(ジョブフェア)を開催

## ■ 2014年[平成26年]

- 3月 本郷キャンパス新S館竣工
- 3月 経営学部、北京語言大学(中国)と3年次編入に関する協定を締結
- 3月 ビタウタス・マグヌス大学(リトアニア)と交換留学協定締結
- 4月 文京学院大学保健医療技術学部「看護学科」を開設
- 4月 第2回「新・文明の旅特講a」開講(22日)
- 4月 「文京学院大学後援会」が発足(26日)
- 4月 入学式において、ツィリル・コザチェフスキ駐日ポーランド特命全権大使がスピーチを行う(2日)
- 6月 文京学院大学総合研究所叢書として『ビジネス倫理学入門』を発売(30日)
- 8月 第9回「五街道ウォーク」実施(19日～25日)
- 9月 文京学院大学短期大学閉校式が行われる(21日)
- 10月 セント・ベネディクト大学/セント・ジョーンズ大学のベネツ教授の長年にわたる貢献を刻んだ銘板を本郷キャンパスS館3階のチャット・ラウンジコーナーに設置
- 12月 「将来構想委員会」を設置
  - BGU.JPドメインを取得、卒業生へのメールサービスなどへの利用を開始
  - ふじみ野キャンパスで、「キャリアリーダー委員会」が発足

## ■ 2015年[平成27年]

- 2月 第1回「将来構想委員会」を開催(5日)
- 2月 第2回「新・文明の旅」プログラムの国内活動として、「敦賀プロジェクト」を実施(26日～27日)
- 3月 第2回「新・文明の旅」プログラム海外派遣実施。ポーランド、

## ■ 社会一般

- 8月 国の借金残高が初めて1,000兆円を突破
- 9月 東京が2020年のオリンピック開催地に決定
- 12月 特定秘密保護法公布

- 2月 関東・甲信地方に2週連続で記録的大雪
- 4月 消費税8%に引き上げ
- 4月 米国オバマ大統領来日
- 6月 中東で国際テロ組織ISISが「イスラム国家」樹立宣言
- 9月 御嶽山噴火
- 10月 ノーベル物理学賞に赤崎勇・天野浩・中村修二

- 3月 北陸新幹線開業
- 6月 公職選挙法一部改正(選挙権年齢18歳に引き下げ)
- 7月 米国とキューバが国交回復

## ■ 本学

- ラトビア、リトアニアで現地の学生たちと交流(4日～20日)
- 4月 第3代目学長に工藤秀機保健医療技術学部教授が就任
- 4月 経営学部 長期フィールドワーク実践のカリキュラムのなかで「伝統工芸活性化プロジェクト」を開始
- 7月 生涯学習センターで、文京区の後援を受け「60歳からのオープンキャンパス」を実施(18日)
- 11月 生涯学習センター開設20周年記念として、日本を代表する国際的ヴァイオリニストである前橋汀子氏によるヴァイオリンコンサートを開催(28日)
  - 保健医療技術学部作業療法学科教員と学生が参加し、医療的なケアが必要な子どもと、その家族のために開催される「mamacare」(ママケア)主催のイベントがふじみ野キャンパスで開始
  - 人間学部で低学年キャリア支援として「企業見学会」を開始
  - 学内の教育改革に取り組む教員または組織、学部等を財政的に支援することを目的として「学長裁量経費」の採択を開始

## ■ 2016年[平成28年]

- 1月 生涯学習センターで、「看護師ブラッシュアップコース」を開講
- 1月 本郷キャンパス東本館が「第15回文の京都市景観賞」で「景観創造賞」を受賞
- 2月 「環境教育研究センター」が福島県郡山市市民活動推進顕彰事業「まちづくりハーモニー賞」を受賞(4日)
- 3月 インフォグラフィックを活用した社会貢献活動第1弾を発表。外国人向けの「地震防災マニュアル(文京区版)」を制作、発表(1日)
- 3月 埼玉県の岩槻人形協同組合と「連携協力に関する協定」締結(3日)
- 3月 経営学部学生が岩槻人形協同組合と協同で開発した「フクロウ型の眼鏡置き」を発表(3日)
- 4月 英国のロンドン芸術大学(UAL)のクリス・ウェンライト副総長が来学し、入学式においてスピーチを行う(1日)
- 4月 文京学院大学経営学部「経営学科」の学科名称を「経営コミュニケーション学科」と変更し、「経営コミュニケーション専攻」を「マネジメント専攻」に、「コンテンツ・マーケティング専攻」を「マーケティング・デザイン専攻」に変更
- 4月 経営学部に「ビジュアル・シンキング委員会」を設置
- 4月 キャリア支援として、学生と卒業生の交流の中で「共に学びあう場」として「The B's Way」を開始
- 5月 4つのビジョンと9つの重点戦略をまとめた「B'sビジョン2024」を大学運営会議で学長に答申(19日)
- 6月 文京学院大学総合研究所叢書第2弾として『トルコと日本の経済・経営関係(国際共同研究)』を発売(10日)
- 6月 文京学院大学総合研究所叢書第3弾として『マンガ・アニメにみる日本文化(国際共同研究)』を発売(10日)
- 6月 経営学部、北京第二外国語大学(中国)と3年次編入に関する協定を締結
- 8月 第1回「伝統工芸教育プログラム」を、さいたま市と桐生市で実施
- 8月 第10回「五街道ウォーク」実施(18日～25日)
- 9月 外国人向けの「地震防災マニュアル(文京区版)」が、東京消防庁から「第13回地域の防火防災功労賞」を受賞
- 9月 ロンドン芸術大学(英国)と包括協定締結
- 10月 インフォグラフィックを活用した社会貢献活動第2弾を発表。合理的配慮を一目でわかりやすく表現したリーフレット『WiTH』を制作、発表(11日)

## ■ 社会一般

- 10月 ノーベル生理学・医学賞に大村智、物理学賞に梶田隆章
- 10月 安全保障関連法成立
- 11月 パリで同時多発テロ
- 12月 COP21開催、「パリ協定」採択

- 1月 日銀、マイナス金利政策導入
- 1月 マイナンバー(個人番号)制度開始
- 3月 北海道新幹線開業
- 4月 熊本地震発生
- 6月 英国の国民投票でEU離脱派が勝利
- 10月 ノーベル生理学・医学賞に大隅良典

本学	社会一般
<p>10月 「環境教育研究センター」が復興庁「新しい東北 復興ビジネスコンテスト」に入賞(15日)</p> <p>11月 「環境教育研究センター」が農林水産省「食と農林漁業大学生アワード」入賞(8日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本郷キャンパス全域での無線 LAN 整備を完了</li> </ul>	
2017年[平成29年]	
<p>1月 「B's ビジョン 2024 実行委員会」を設置</p> <p>3月 経営学部生が岩槻人形協同組合と行った第2弾産学連携プロジェクト「現代版 袴雛」の発表会を開催(5日)</p> <p>3月 アル・ファラビ・カザフ国立大学(カザフスタン)とウズベキスタン世界言語大学(ウズベキスタン)と交換留学協定締結</p> <p>4月 次の学部学科において定員変更を実施。経営学部経営コミュニケーション学科(入学定員260人・収容定員1,040人)、外国語学部英語コミュニケーション学科(入学定員260人・収容定員1,040人)</p> <p>4月 人間学部コミュニケーション社会学科が3・4年次生から、本郷キャンパスでの授業を開始</p> <p>4月 本郷キャンパス「チャット・ラウンジ」で韓国語・フランス語・スペイン語を開始</p> <p>4月 第3回「新・文明の旅特講 a」が開講</p> <p>6月 外国人向けの『地震防災マニュアル(文京区版)』がPRDaily 2016 Social Impact Design 特別賞を受賞</p> <p>7月 第1回「KAWAGOE Wayfinding プロジェクト」を実施(28日～9月1日)</p> <p>10月 外国人向けの『地震防災マニュアル(文京区版)』がグッド・デザイン賞に選定(4日)</p> <p>10月 経営学部生によるエスカレーター安全利用啓発活動第1弾を実施。学生が考案した「思わずつかまりたくなる」手すりフィルムがJR山手線「目黒」駅の商業施設「アトレ目黒1」で実験的に施工(12日～31日)</p> <p>11月 インフォグラフィックを活用した社会貢献活動第3弾を発表。産後うつに対する理解を深めるリーフレット『ママから笑顔がきえるとき』と動画を発表(13日)</p> <p>12月 硬式野球部が東京新大学野球連盟3部秋季リーグ戦で3部優勝。2部へ昇格</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「環境教育研究センター」が福島県地域創生総合支援事業「郡山逢瀬・埼玉ふじみ野の出会いから始めるふくしま復興事業」に採択される</li> <li>コンテンツ多言語知財化センターの東日本大震災支援活動団体「プレーメンズ」による「ねば～だるま」プロジェクトが開始</li> </ul>	<p>1月 米国トランプ大統領就任</p> <p>6月 天皇退位特例法成立</p> <p>6月 米国、「パリ協定」離脱</p> <p>7月 九州北部で記録的豪雨</p> <p>7月 日本とEUが経済連携協定(EPA)で大筋合意</p> <p>7月 国連で核兵器禁止条約採択、日本は不参加</p>
2018年[平成30年]	
<p>3月 経営学部生が岩槻人形協同組合と行った産学連携プロジェクト第3弾「新商品」を発表(5日) 同年6月に商品名「かみしもどーる」が発表され発売開始</p> <p>3月 第3回「新・文明の旅」プログラム海外派遣実施。カザフスタンとウズベキスタンで現地の学生たちと交流(13日～22日)</p> <p>4月 人間学部人間福祉学科に「ソーシャルワークコース」「福祉マネジメントコース」の2コース制を導入。福祉マネジメントコース履修者は1・2年次はふじみ野キャンパス、3・4年次は本郷キャンパスとなる</p> <p>4月 「国際連携教育プログラム」が外国語学部の正式な科目として</p>	<p>2月 福井県で記録的大雪</p> <p>3月 米国除く11カ国での環太平洋パートナーシップ協定(TPP)新協定に署名</p> <p>6月 働き方改革関連法が成立</p> <p>6月 改正民法成立(18歳を成人とする)</p> <p>6月 大阪府北部地震発生</p> <p>7月 西日本豪雨</p> <p>9月 北海道胆振東部地震発生</p> <p>10月 ノーベル生理学・医学賞に本庶佑</p>

本学	社会一般
<p>カリキュラムに位置づけられる</p> <p>6月 経営学部 北京理工大学(中国)と3年次編入の協定を締結</p> <p>7月 第2回「KAWAGOE Wayfinding プロジェクト」を実施(30日～8月24日)</p> <p>8月 第11回「五街道ウォーク」実施(17日～25日)</p> <p>9月 総合研究所が「科研費セミナー」を開始する</p> <p>12月 経営学部学生によるエスカレーター安全利用啓発活動第2弾を実施。歩行抑制を目的とした「思わず止まって乗る」足型などのピクトグラムを、JR山手線「目黒」駅の商業施設「アトレ目黒1」のエスカレーターのステップとライザーに実験的に施工(1日～31日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際連携教育プログラム提携校にアル・ファラビ・カザフ国立大学(カザフスタン)、ウズベキスタン世界言語大学(ウズベキスタン)が加わる</li> <li>ふじみ野キャンパス全域での無線 LAN 整備を完了</li> </ul>	<p>12月 環太平洋パートナーシップ(TPP)協定発効</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アマチュアスポーツ界で不祥事相次ぐ</li> </ul>
2019年[平成31・令和元年]	
<p>2月 経営学部生が東京ビッグサイトで開催された「東京インターナショナル・ギフト・ショー春」に川越商工会議所の要請を受け出展(12日～15日)</p> <p>3月 文京学院大学総合研究所叢書として『対人援助のためのコミュニケーション学 実践を通じた学際的アプローチ』を出版(15日)</p> <p>3月 千葉県と「就職支援に関する協定」を締結</p> <p>4月 第4代目学長に櫻井隆経営学部教授が就任</p> <p>4月 「まちづくり研究センター(まちラボ)」を両キャンパスに開設</p> <p>7月 NHK 主催イベント「N スポ!」や都営地下鉄大江戸線の「中野坂上」駅、「飯田橋」駅、「新宿西口」駅のエスカレーターの手すりに、経営学部学生が考案した手すりや足型デザインが採用される(20日～24日)</p> <p>7月 経営学部生によるエスカレーター安全利用啓発活動第3弾を実施。森ビル(株)と協働し、東京メトロ日比谷線「六本木」駅直結の「メトロハット」のエスカレーター3基のステップに学生考案の足型のデザインを施し、実証実験を行う(22日)</p> <p>9月 インフォグラフィックを活用した社会貢献活動第4弾を発表。作業療法士による認知症リハビリを広げるためのリーフレット『私がわたしのままで過ごすために』を制作、発表(5日)</p> <p>9月 コンテンツ多言語知財化センターの「ねば～だるま」プロジェクトに参加する学生たちが、W杯ラグビー開催地の一つ岩手県釜石市で試合開催当日に学生デザインの「ねば～だるまうちわ」5,000枚を配布(25日)</p> <p>11月 インフォグラフィックを活用した課題解決型社会貢献活動が「文部科学省情報ひろば」の企画展示に採択される(2日)</p> <p>12月 新学生交流会館「Youth House」が竣工(1日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人間学部心理学科が「公認心理師養成校」として認定される</li> </ul>	<p>4月 パリのノートルダム大聖堂で火災</p> <p>5月 皇太子徳仁親王殿下即位、「令和」と改元(1日)</p> <p>9月 ラグビー W 杯日本開催</p> <p>10月 消費税10%に引き上げ実施</p> <p>10月 那覇市の首里城正殿が失火により焼失</p> <p>12月 英国総選挙で与党保守党が単独過半数を獲得、EU 離脱問題に決着</p>
2020年[令和2年]	
<p>2月 ラトビア大学(ラトビア)と交換留学協定締結</p> <p>2月 第1回「新型コロナウイルス対策会議」を開催(25日)</p> <p>5月 全学部で一斉にオンデマンド(一部オンライン)授業開始(7日)</p> <p>5月 オンライン国際交流会を開始</p> <p>7月 一部授業で対面授業再開</p> <p>7月 「見て理解できるインフォグラフィックを活用した問題解決型社会貢献活動の展開」を、文部科学省内「情報ひろば」でパネ</p>	<p>3月 WHO、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)でパンデミックを宣言</p> <p>3月 東京のJR山手線に新駅「高輪ゲートウェイ」開業</p> <p>4月 新型コロナウイルスで日本国内に初の緊急事態宣言発令</p>

■ 本学

- ル展示(1日～8月21日)
- 9月 留学生を励ます会「和楽器演奏会」を実施(14日)
- 10月 文部科学省より「大学院看護学研究科」(令和3年4月開設・入学定員10人・収容定員20人)の増設認可を受ける(23日)
- 11月 経営学部生によるエスカレーター安全利用啓発活動第4弾。コロナ禍における新しいエスカレーターの乗り方として「ジグザグ乗り」を提唱
- 12月 生涯学習センターで『はじめての渋沢栄一』出版記念オンラインシンポジウムを開催(12日)

■ 2021年[令和3年]

- 3月 国立コンケン大学(タイ王国)と包括協定締結(23日)
- 3月 2年生のための「1年遅れの入学式」開催
- 3月 経営学部が東洋学園大学(文京区)と単位互換協定締結(29日)
- 3月 春季オンライン留学を実施(トンプソン・リバース大学<カナダ>、北京語言大学<中国>)
- 4月 「危機管理対策本部(新型コロナウイルス)」を設置
- 4月 第4回「新・文明の旅特講a」開講(新型コロナウイルス感染症による1年延期して実施)
- 4月 外国語学部の3、4年次生の英語科目に英語学習に対する動機づけを目的にESPを導入
- 4月 外国人向けの『地震防災マニュアル(文京区版)』が開隆堂出版の「中学校(2・3年生用)美術教科書」に掲載される
- 4月 「大学院看護学研究科(修士課程)」開設
- 5月 文京区にワクチン接種会場として本郷キャンパスを提供
- 5月 ふじみ野市議会との連携に関する協定締結。本郷・ふじみ野図書館とふじみ野市議会図書室との相互協力開始(21日)
- 6月 「渋沢栄一に学ぶ現代の大学教育」をテーマとした大学開学30周年記念シンポジウムを本郷キャンパス仁愛ホールで開催(19日)
- 7月 カンボジア健康科学大学(カンボジア)と包括協定締結(16日)
- 8月 夏季オンライン留学を実施(トンプソン・リバース大学<カナダ>、北京語言大学<中国>、サンフランシスコ州立大学<米国>)
- 8月 本郷キャンパスで職域接種を実施(30日～)
- 10月 大学開学30周年記念式典を本郷キャンパス仁愛ホールで開催(23日)
- 12月 「ポスト COVID-19時代におけるグローバル経済・経営と大学教育のあり方」をテーマとした大学開学30周年記念 パーチャル国際シンポジウムを開催(11日)

■ 社会一般

- 6月 中国で香港国家安全維持法施行

- 1月 初の大学入学共通テスト実施
- 2月 ミャンマーでクーデター発生
- 2月 国内で新型コロナウイルスのワクチン接種開始
- 5月 改正少年法公布
- 6月 育児・介護休業法改正(「男性産休」を新設)
- 7月 「東京2020オリンピック・パラリンピック」が1年遅れで開催(～9月)
- 8月 タリバンがアフガニスタン首都を制圧
- 9月 コロナ対応の緊急事態宣言と「まん延防止等重点措置」が解除
- 10月 ノーベル物理学賞に真鍋淑郎
- 12月 2022年度当初予算を閣議決定、歳出107兆円で10年連続過去最大